

科目番号	科目名	配当年次	授業形態	単位	担当教員
J301	老人福祉論 / 高齢社会と福祉	3年	講義	2	笹川陽子

#### 授業概要

現在の日本の高齢化率は 27%を超え、超高齢社会に突入している。世界一速い高齢化に社会システムが対応できず、新たな問題を生み出している。そこで戦後から現在に至るまでの日本の福祉政策(福祉国家思想)を概観しながら、高齢者の実態を理解し、これからの高齢者福祉を考察する。

#### 到達目標(学習の成果)

日本の高齢者福祉政策の変遷を踏まえながら、社会経済の変化に大きく左右されながら、これまで超高齢社会にどのように対応してきたかを学ぶ。とくに近年、高齢者の増加と高齢者の多様化にともない、高齢者の意思や尊厳、人権擁護の重要視され、従来の画一的な福祉から高齢者一人ひとりのニーズに合った福祉が求められている。公的供給の限界の状況の下で、福祉社会という立場から、高齢者福祉の担い手として、行政以外の住民、NPO法人、住民(コミュニティー)が不可欠である。これらの現状を把握し、高齢社会に必要なシステムとは何かを考えることができるようにする。(DP3)

#### 授業計画

回	表題	学修内容
1	高齢社会とは	高齢社会の定義と高齢社会がもたらす影響をデータから読み取る。
2	老化と高齢者	「老化」および「エイジング」の概念を学び、高齢期における「複合喪失」について理解する。
3	高齢者の特徴	ライフサイクルの変化にともなう高齢者の変化と多様性について学ぶ。
4	高齢者と家族	家族形態の変化と高齢者(家族類型と家族生活)
5	高齢者と家族生活	高齢者の自立と家族関係の多様化について学ぶ。
6	高齢者の福祉ニーズ	高齢期における医療・福祉ニーズの増大と 2025 年問題について学ぶ。
7	高齢者福祉と高齢社会基本法	高齢社会基本法とその施策、人にやさしい社会について学ぶ。
8	老人福祉制度	老人福祉制度の概要と展開について学ぶ。
9	老人保健制度	老人保健制度の誕生の経緯と概要について学ぶ。
10	介護保険制度	介護保険制度の誕生の経緯と概要について学ぶ。
11	高齢者と住居	高齢者の住居の多様性と終の棲家について学ぶ。
12	高齢者と生きがい	高齢者の権利擁護と高齢者へのソーシャル・サポートについて学ぶ。
13	高齢者とコミュニティ	高齢社会対応の新たなコミュニティの構築(見守りサポートの役割)について学ぶ。
14	高齢者と情報機器の日常化	高齢社会への企業の取り組みについて学ぶ。
15	高齢社会の新たな問題	高齢化にともなう「孤立死」の増加と高齢者による「終活」について学ぶ。

準備学修(授業外の自己学修)  
 復習および試験対策として講義内容を文章にすること(添削後に返却)。

成績評価の方法・基準(%表記)  
 平常点(出席・授業態度)(10%) および期末試験(90%)

観点	S	A	B	C
家族形態の変化と高齢者福祉策の変遷についての理解	完全に理解している	ほぼ完全に理解している	十分に理解している	一定水準で理解している
高齢者の自立と多様性についての理解	完全に理解している	ほぼ完全に理解している	十分に理解している	一定水準で理解している
超高齢社会における高齢者福祉の対応策	完全に理解している	ほぼ完全に理解している	十分に理解している	一定水準で理解している

教科書  
 特に定めませんが、テーマごとに資料配布。

参考書等  
 有斐閣アルマ『高齢者福祉の世界 補訂版』  
 内閣府『高齢社会白書 各年度版』

履修上の注意・学修支援

- 1 教科書を定めないので、毎回出席してノートをとること。
- 2 授業開始後に、前回授業の内容を質問するので復習すること。